

校長挨拶

令和8年度から第七中学校校長に就任しました鈴木 信（すずき しん）です。前任校は、第九中学校で8年（担任3年、生徒指導主事2年、教頭3年）在籍しておりました。第七中学校での勤務は初めてとなりますが、チーム七中として一生懸命頑張っていきたいと思っております。

さて、入学式で、新入生に対して中学校とはどのような場所なのか、どのように過ごしてほしいのかを、新入生にとっての最初の授業としてお話しています。

① 学校は学習をする場所

数学や英語、あるいは体育や音楽など、たくさんの教科を学習します。勉強が好きな人、苦手な人、いろんな人がいると思います。大切なのは、分からなかったことが分かるようになる、出来なかったことが出来るようになることの楽しさです。わからないことがあるのは当たり前です。先生や仲間に質問し、それを積み重ねて学習してください。

② 学校は経験をする場所

日々の授業、委員会活動、行事、部活動、ボランティア活動など、中学校では、どんな活動をするときも、自分に役割があります。それは、ただ先生に言われた通りにやるではありません。自ら考え、理解し、一人一人が自分の意志で役割を果たします。結果として、学校生活は達成感のある、充実したものになるはずですよ。そのような経験を積み重ねてください。

③ 学校は成長する場所

先に述べた二つのことを実践し、3年生では、自分で進路を決められる人になっていてください。

これらをしっかり意識すれば、きっと楽しい中学校生活を送れるはずです。もしうまくいかない時があれば、その時は今日の話思い出して、自分の行動と自分の心を見つめ直してください。解決のきっかけが見つかるだろうと思います。

結びになりますが、第七中学校はこれまでと同様、保護者の皆様、地域の皆様との連携・協力を大切にしながら、学校教育活動を進めていきたいと考えておりますので、今後ともよろしく申し上げます。